

『PCA会計hyper』バージョン1.0、リビジョン5.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

HOS210216

※『PCA Client-API』や他のカスタマイズ(アドオン)プログラムをご利用のお客様は、アップデート後のカスタマイズプログラムの動作への影響について、事前にご確認ください。
動作に問題ないことを確認後、アップデートを実行してください。

■互換性に関する変更点の有無について

◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「7.10」に更新しました。
監査機能強化に伴い、関連するテーブルを追加しました。

◇APIの変更について

変更あり

◇汎用データの変更について

変更あり

■主な機能強化・仕様変更点

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。
※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

◇国税電子申告のバージョンアップに対応

国税電子申告・納税システム(e-Tax)の「令和2年4月1日以後終了する課税期間分(手続きバージョン 20.0.0)」の様式に対応しました。

◇監査機能強化

仕訳や残高について懸念事項の検出を自動化する機能(監査機能)を追加しました。
「監査」-「監査ルールの登録」で登録し、「監査ルールチェック処理」で実行します。

◇機能強化

- ・「総勘定元帳」「現金出納帳」「預金出納帳」において、補助科目・取引先のない勘定科目のみ印刷する機能を搭載しました。
- ・汎用データの受入で[仕訳]受入時にセグメントを自動登録する機能を追加しました。

以上